

桑名市総合計画・

桑名市行政改革大綱

実施計画

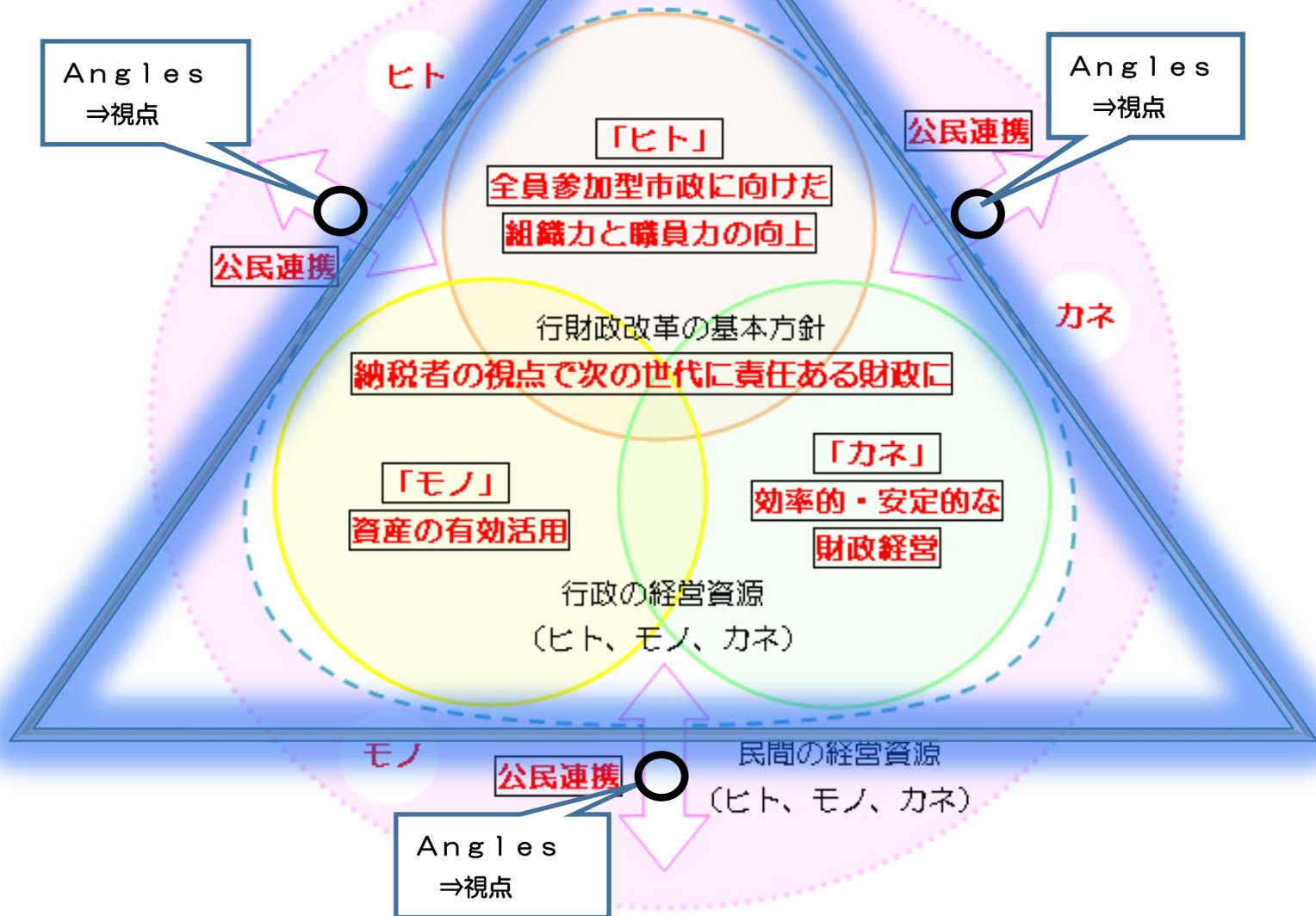
(平成31年度)

Try Angles

トライアングلز

第4次行政改革大綱

「トライアングルス Try Angles」



トライアングルス

- 様々な立場、視点から、成功を目指しやってみる。
- 「ヒト」「モノ」「カネ」3つの輪⇒三角形(Triangle)
- 様々なアングル(Angles)から物事を見て、様々な立場で考える⇒「公民連携」

行財政改革の必要性(次世代への責任)

これまでも、本市では「簡素で効率的な行政システムの確立」、「経費削減」、「市民生活における質の向上」を目指し、絶え間なく行財政改革に取り組んできました。

しかしながら、人口減少問題、高齢化社会の進展による福祉・医療関係経費の増加、老朽化した公共施設の再編に伴う建替費用等の増加など様々な行政課題を抱えている一方で、市民の価値観も複雑化・多様化してきています。

理 念

桑名市総合計画（平成27年度～）は、まちづくりの基本となる最も重要な計画として位置づけられています。その総合計画のビジョンの1つとして、行政改革大綱「納税者の視点で次の世代に責任ある財政に」を掲げています。

納税者の視点で次世代へ責任を持って引き継げるまちにするため、さらに行財政改革を行っていくことが不可欠となっています。

行財政改革の推進(公民連携の視点)

行財政改革を推進していくためには、「ヒト・モノ・カネ」の限られた資源を、無駄なく最適に配分・活用し、効率的に事業を行っていかねばなりません。しかし、これからは行政だけで行政サービスを維持していくことは非常に困難な状況となっています。

そのため、民間と役割分担をしながら協力し、民間の資源やノウハウ、アイデアを活用する、公民連携をより一層推進していく必要があります。

- (1) 行政改革大綱の「基本方針」である「ヒト・モノ・カネ」を基本に、これらの経営資源を民間の視点から見直します。
- (2) 民間の力を積極的に活用した市民サービスの実現を目指す「公民連携」の考え方を取り入れ、『トライアングلز』の精神で従来の考え方に捉われず積極的に取り組みます。

これらの視点のもとで、社会経済情勢の変化にも耐えうる、より柔軟に市民ニーズに対応したサービスを提供できる行財政改革を目指すものとします。

これまでの公民連携の主な取り組み

- ◆図書館等複合公共施設（PFI事業） ◆地方独立行政法人 桑名市総合医療センターへの統合
- ◆指定管理者制度 ◆広告事業、ネーミングライツ ◆電力調達方法の見直し
- ◆太陽光発電（公共施設の屋根貸し、土地） ◆スマエコタウン（エネルギーの自給自足）
- ◆民間事業者との「高齢者見守りネットワーク事業協力に関する協定」の締結
- ◆公民連携公共サービス提案制度 ◆公民連携広告事業提案制度 ◆クラウドファンディングの活用
- ◆コラボ・ラボ桑名（公民連携ワンストップ対話窓口）の開設 ◆行政窓口サービス方法の連携
- ◆サウンディング型市場調査の取り入れ

桑名市行政改革大綱 実施計画

本実施計画における取り組み項目は、行財政改革を一過性のものではなく、継続的に取り組むべき課題であるという考えのもと、これまで（第3次行政改革大綱実施計画）の取り組みを踏まえたうえで定めています。さらに「桑名市行政改革推進委員会」から意見・提言などをいただきながら策定しました。

行政改革大綱の基本方針である「ヒト・モノ・カネ」のなかで、目指すべき姿を実現するため、それぞれに「重点実施項目」を定め「公民連携」の視点から推進します。

総合計画 実施計画と併せて取り組む実施計画

- ・ 不断に行財政改革を進めることが、次の世代へのまちづくりにつながるという考え方で、総合計画の実施計画と併せて取り組みます。
- ・ 総合計画および行政改革大綱に掲げられたまちづくり指標をもとに、総合計画の進捗管理と併せて施策評価を実施し、目標と成果を連動させます。

計画期間

- ・ 行政改革大綱の計画期間が5年間（平成27～31年度）であることを踏まえ、実施計画期間と定めます。

年度	27	28	29	30	31
実施計画	3年間単位				
		3年間単位			
			3年間単位		

基本的な考え方

- ・ 実施年度、数値目標・効果を設定し、PDCAサイクルを回しながら進捗管理をします。そのなかで評価・検証しつつ毎年度、重点実施項目を定めます。
- ・ 進捗状況は広報紙やホームページなどで広く公表し全員参加で取り組みます。

重点実施項目（選定基準）

- ・ 新規に実施する取り組み項目
- ・ 基本計画「ヒト・モノ・カネ」への上位貢献度が高い取り組み項目

推進体制

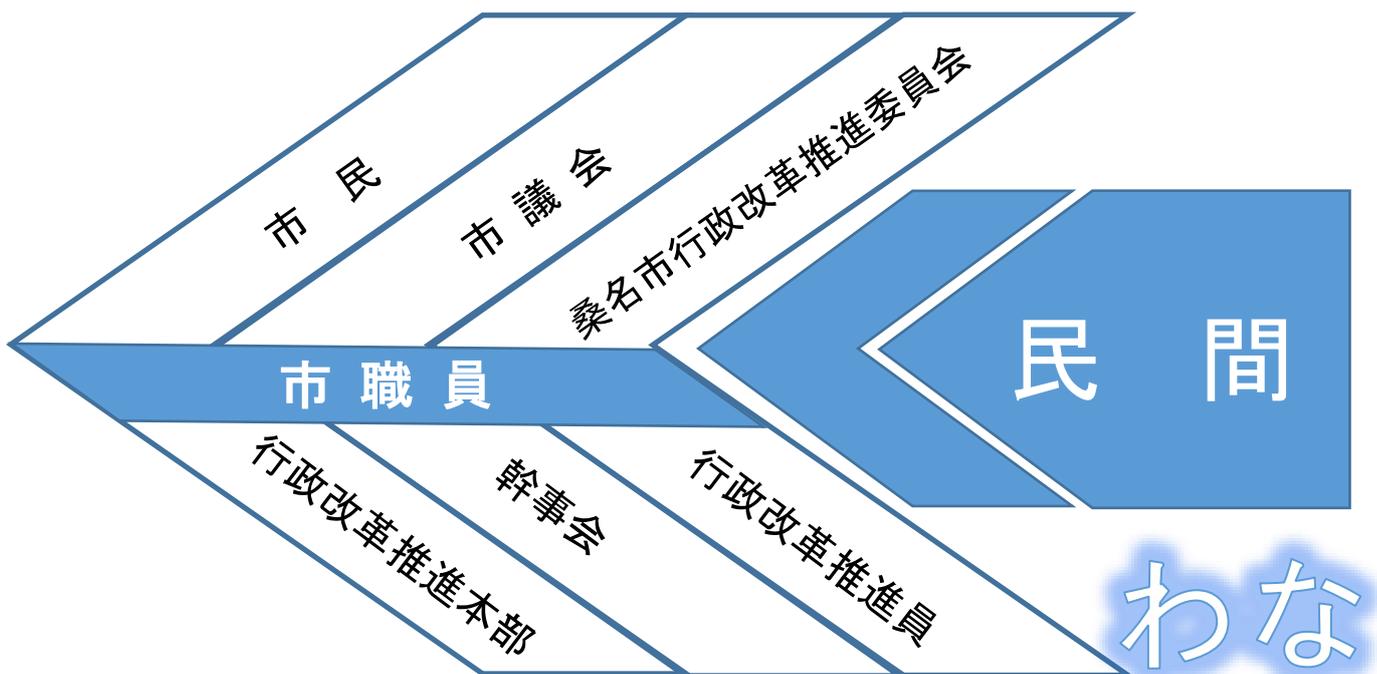
行財政改革の推進にあたっては、市長を本部長とする行政改革推進本部を中心として、有識者等で構成される「桑名市行政改革推進委員会」から意見等をいただきながら、全庁体制で取り組みを進めます。

◆桑名市行政改革推進委員会

行政改革の進捗状況は、評価・検証を行いながら、桑名市行政改革推進委員会に報告します。委員会の意見は、今後の市政運営に反映するようにします。

◆庁内行政改革推進体制

市長を本部長とする「行政改革推進本部」、課長級職員で構成する「幹事会」及び各課における「行政改革推進員」において、毎年度、行政改革大綱及び実施計画の進捗状況を調査・点検し、全庁体制で取り組みます。



※「く」わなしの未来のため、「わ」たしたちが、「な」かまとなって取り組みます。

その他

- 実施計画は社会情勢の変化などに応じて、計画期間中においても、適宜見直しを行います。

全員参加型市政に向けた組織力と 職員力の向上

目指すべき姿

市役所全体の組織や風土を常に見直しながら、市民の信頼に応えるため職員全体の能力向上に努めていきます。

- 目指すべき姿を実現するために、以下の重点実施項目を定めます。

取り組み内容		31年度 重点実施項目
組織の見直し	<ul style="list-style-type: none">● 社会経済情勢の変化や新たな市民ニーズに対応した施策の実施に向け、組織・機構の見直しを行います。● 職員定員の適正化を進めるとともに、適正な人員配置と業務効率の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none">・働き方改革サポート事業・定員の適正管理・多世代共生型施設整備事業
職員の能力向上	<ul style="list-style-type: none">● 人材育成基本方針に基づく職員育成の実施や、民間経験等を持った多様な人材の確保に努め、市職員全体の能力の向上に努めます。● 政策、コミュニケーション能力など、社会環境変化に応じた職員研修に取り組みます。● 職員が、最大限の力が発揮できるよう職場環境を充実させます。● 職員が本市の置かれている状況を理解し、行財政改革を推進するという意識改革に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none">・人材育成の推進

平成31年度 公民連携の主な取り組み

- ・職員の公民連携の意識向上のため、職員提案制度の実施や公民連携の実績をポータルサイトなどに掲示・周知を行います。また、職員採用試験における面接員に外部の者を登用しています。

資産の有効活用

目指すべき姿

桑名市が保有する資産について、活用方法や管理運営形態の見直しをおこないながら、適切にマネジメントできる仕組みを構築します。

- 目指すべき姿を実現するために、以下の重点実施項目を定めます。

取り組み内容		31年度 重点実施項目
<p>公共施設マネジメント (建築物、いわゆる「ハコモノ」)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在および将来的に施設ニーズが減少する公共施設について、統廃合や機能転換、多機能化（複合化）などを図り、桑名市が保有する公共施設全体の総量を削減します。（量の見直し） ● 量の見直しにより、将来的に保有すべき公共施設は、計画的に保全・長寿命化するとともに、修繕・維持管理費用などのコストを縮減します。（質の見直し） 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画の推進 ・第1次アクションプランの推進 ・市営住宅解体撤去事業 ・リサイクル推進施設解体撤去事業 ・南医療センター解体撤去事業
<p>公共施設等マネジメント (公共施設+インフラ系、プラント系など 全ての保有施設)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての公共施設等に関する情報について、総合的かつ計画的に管理できるよう全庁的な組織体制を構築します。 ● 長期的な視点で、公共施設等の維持管理に関する財政負担の軽減や平準化、公共施設等の最適な配置の実現に取り組みます。 	

平成31年度 公民連携の主な取り組み

- ・指定管理者制度の見直し及び施設管理の新たな手法の検討
- ・サウンディング型市場調査等を利用した土地等の利活用の推進

カネ

効率的・安定的な財政経営

目指すべき姿

歳出削減と新たな歳入確保に向けた取り組みをおこなうことで、社会環境変化に柔軟に対応できるような財政基盤を構築します。

- 目指すべき姿を実現するために、以下の重点実施項目を定めます。

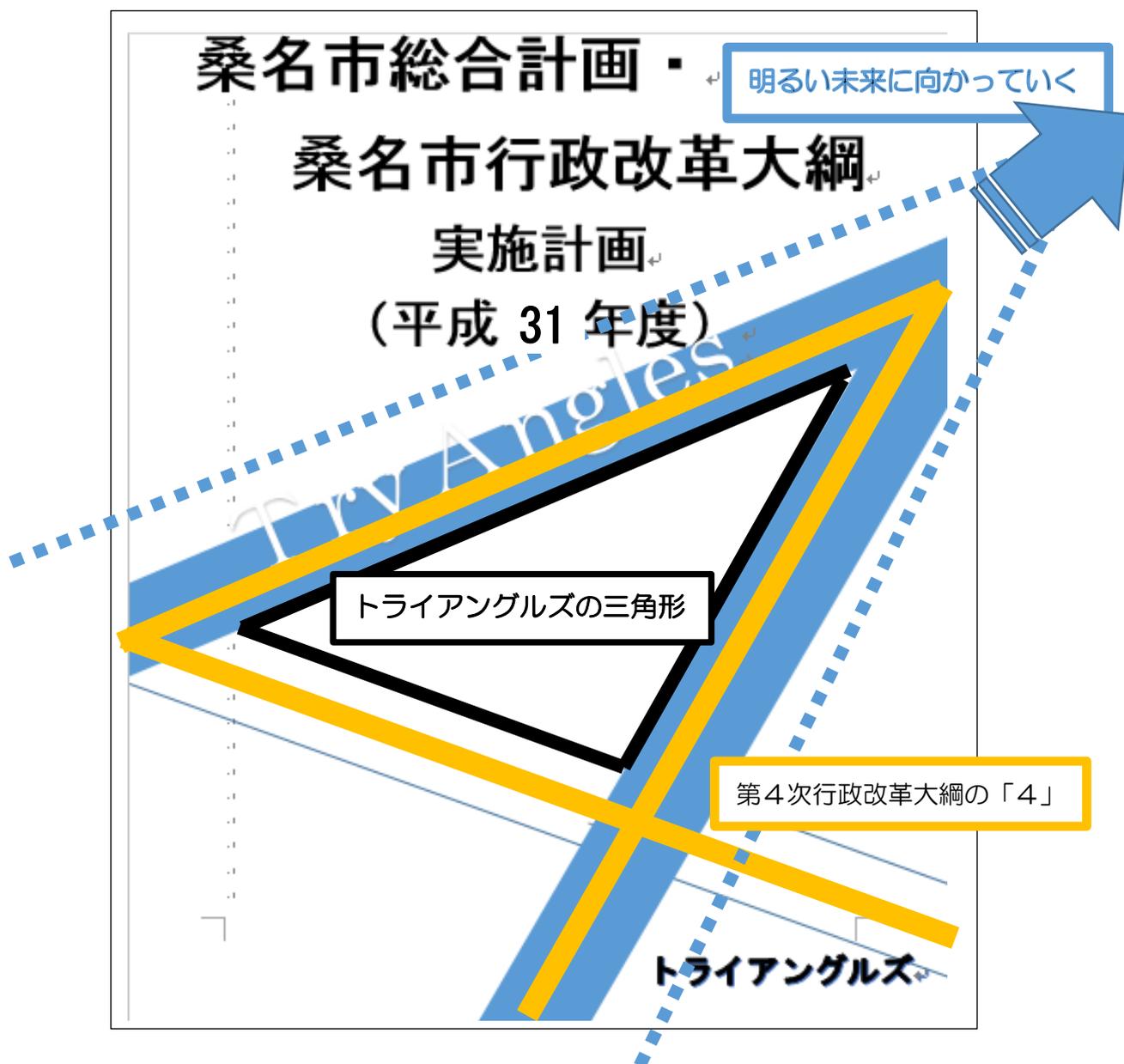
取り組み内容		31年度 重点実施項目
財政基盤強化	<ul style="list-style-type: none">● 中期の市財政のあるべき姿を示し、各種財政指標を用いて、予算・決算ごとの成果を確認しながら、計画的な財政経営を進めます。● 財政の現状や課題について、市民との情報の共有を進め、理解を深めてもらうことで、今後の行政サービスのあり方を市民と共に考えていきます。● 出資法人について、現状や課題を把握し、今後の関与のあり方を見直します。	<ul style="list-style-type: none">・ 中期財政計画に基づく財政運営・ 出資法人の関与のあり方（外郭団体の見直し）・ 補助金の検証
歳入確保	<ul style="list-style-type: none">● 新たな資源の活用により、自主財源の増収に取り組めます。● 未利用財産の活用や市税収入の増加など継続的な取り組みにより、歳入確保に努めます。	<ul style="list-style-type: none">・ ふるさと納税の推進・ 使用料の検証
歳出削減	<ul style="list-style-type: none">● 膨張傾向にある予算総額を見直し、歳入に見合った歳出予算の編成をおこないます。● 歳出削減に向けた基準や仕組みづくりをおこないます。	<ul style="list-style-type: none">・ コラボ・ラボによる民間企業等との対話

平成 31 年度 公民連携の主な取り組み

- ・ 「コラボ・ラボ桑名」※ [テーマ型提案、フリー型提案、包括連携協定]

※『コラボ・ラボ桑名』とは、民間事業者等と行政の対話により、市の社会課題・地域課題の新たな解決方法を創出する対話窓口です。

- ・ ネーミングライツ・パートナーシップ提案制度、広告事業提案制度
- ・ 包括管理業務委託



桑名市総合計画と第4次桑名市行政改革大綱（トライアングルス）が一体となって、取り組めます。

くわなが明るい未来に向かっていくようお願いを込めて、全員参加で計画を策定しました。